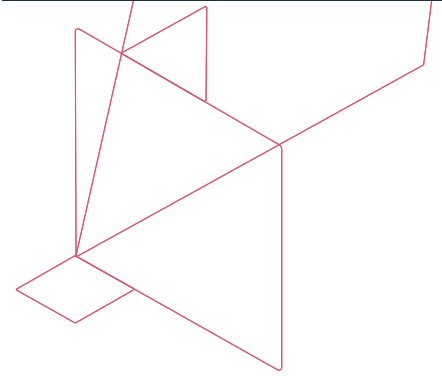


Commvault® for VMware® Cloud on AWS



概要

Amazon Web Services (AWS) はセキュアなクラウド サービス プラットフォームで、コンピューター パワー、データベース ストレージ、コンテンツ配信などの機能を提供し、ビジネスの拡大と成長を支援しています。現在、何百万人ものお客様がAWSのクラウド ソリューションを活用し、柔軟性、回復性、拡張性を高めた高度なアプリケーションを構築しています。AWSを補完するものとして、VMware Cloud on AWSは、下記3つのコアとなるVMware製品で構成されています。

- vSphere - インフラストラクチャ仮想化プラットフォーム
- vSAN - ローカルまたはダイレクト接続のデータ ストレージ デバイスを集約し、単一の共有ストレージ プールを作成するソフトウェア定義ストレージ
- NSX - ソフトウェアベースのネットワークの仮想化とセキュリティ プラットフォームで、すべてAWSリージョンで稼働

これまで、オンプレミスのVMwareスタックのコンポーネントをAWSにリンクすることは、ネットワークの "不一致"、つまりお互いに互換性がないために困難でした。この課題を解決するために、VMC for AWSは、Amazonデータセンター内の "ゲート付き" コミュニティ内でコンポーネントが動作するように共同で設計されました。そして、ネストされた仮想化を使用するのではなく、VMwareのESXハイパーバイザーがネイティブに動作するベアメタルのAWSサーバーを利用することを選択しました。その結果として、VMware Cloud on AWSは、革新的でセキュアかつ拡張性の高いサービスを提供できます。これにより、企業は、パブリック クラウドのコストと柔軟性の利点をすべて活かしながら、容易にサイズ変更可能な次世代のAmazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) ベア メタル インフラ上で動作するAWSクラウドに、オンプレミスのvSphereベースの環境や管理ツールを、シームレスに移行、拡張することが可能になりました。しかし、仮想データセンターと AWSクラウドの両方でデータを保護するにはどうすればよいでしょうか? Commvault for VMware Cloud (VMC) on AWS は、VMware と AWS クラウドへの投資を最大限に活用することを可能にします。Commvault の業界をリードするデータ保護ソリューションと AWS を組み合わせることで、エージェントレス データ保護、アプリケーションとの整合性、vSAN スナップショットを利用して AWS インスタンスを保護することができます。Commvaultは、VMwareとAWSの両方に精通しているので、データ、アプリケーション、ワークロードを確実に保護し、リカバリすることを可能にします。

ハイライト

- Amazon Simple Storage Service (S3) やAmazon Elastic Compute Cloud (EC2) などのAmazon Web Services (AWS) サービスをシームレスに活用し、バックアップ、ディザスタ リカバリ、AWSへのワークロードの移行を可能にします。
- Commvault のオンプレミスのインフラストラクチャを拡張し、最小限のコストで VMware Cloud on AWS のワークロードとクラウドのインフラストラクチャを保護します。
- エージェントレスのデータ保護、アプリケーションとの自動的な整合性確保、vSAN (Virtual Storage Area Network) スナップショットを使用して、VMware Cloud on AWSインスタンスを保護します。
- 複数の仮想マシン (VM) フォーマットに対応し、新しいツールやスキルセットを習得する必要性を最小限に抑えます。
- VMware Cloud (VMC) と Amazon Web Services (AWS) の両方に精通している Commvault は、データ、アプリケーション、ワークロードを確実に保護し、リカバリすることを可能にします。

パブリック クラウドにおけるデータ保護の課題

ネイティブ ツールを使用したパブリックおよびハイブリッド ワークロードの保護は、複雑になる可能性があります。VMware Cloud on AWSのワークロードやデータセットを保護するために、多くの組織では、さまざまなVMwareサービスで利用可能なスナップショットやレプリケーション手法をオーケストレーションし、AWSサービスと連携させるためのスクリプトを作成しています。組織がVMware Cloud on AWSの柔軟性と弾力性をさらに活用し始めると、これらのスクリプトを維持し、監査し、拡張するのは困難になる可能性があります。また、他のクラウド プロバイダーやオンプレミスのデータセンターにもバックアップのセカンダリ コピーを作成するといった規定やビジネス プロセス要件があると、この複雑さは急激に増大する可能性があります。

仮想化したクラウド環境を保護する場合、オンプレミスのデータ保護ソリューションに期待されているのと同じシンプルさ、セキュリティ、監査機能が、AWS クラウドでも同様に機能するべきであると Commvault は考えています。そのため、Commvault のソリューションは、VMware Cloud on AWSにさまざまな機能を提供しています。Commvault Command Center™ は、直感的に操作可能な Web ベースの集中管理コンソールで、重要なデータ保護機能をすべて提供することができます。オンプレミス、パブリック クラウド、プライベート クラウド、ハイブリッド環境など、あらゆる環境でITチームの管理負担を軽減するお手伝いをします。

Commvault for VMware Cloud on AWS

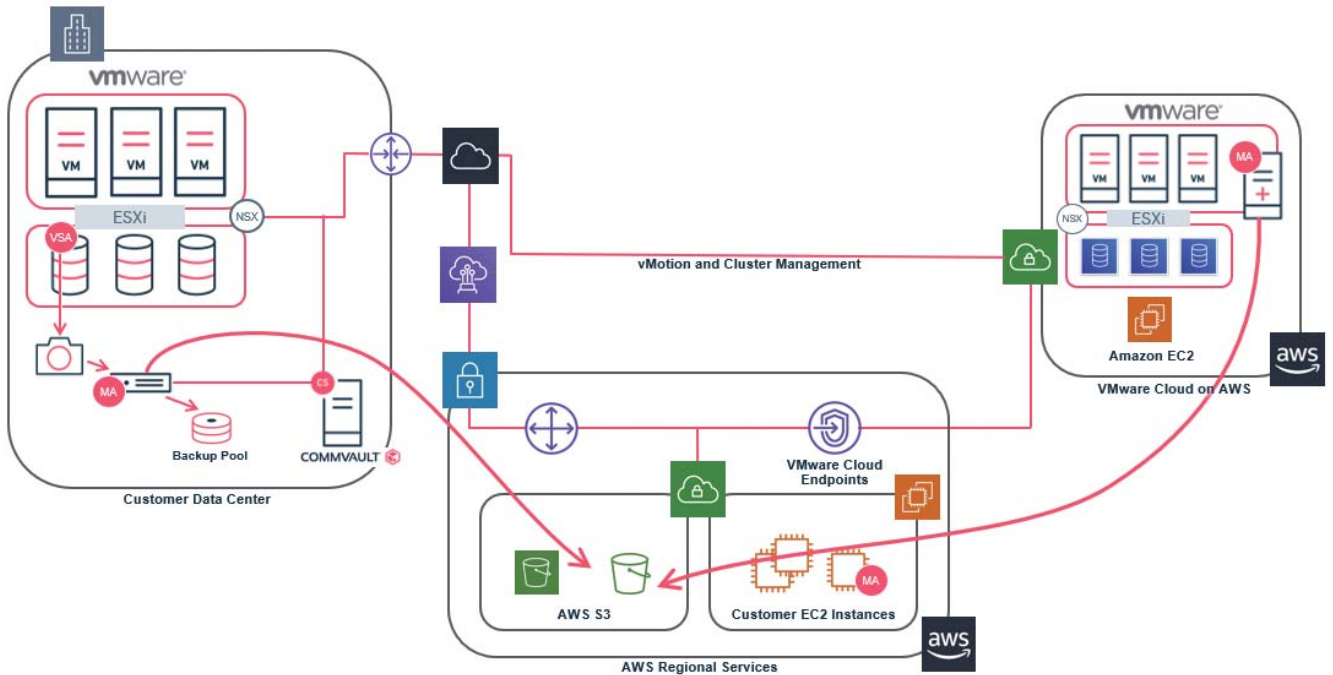
Commvault Virtual Server Agent (VSA) プロキシを使用したVMware Cloud on AWSのエージェントレス データ保護

- VMware Cloud on AWS Software Defined Data Centers (SDDC) のAPIと完全に統合
 - ネイティブのハイパーバイザー (VADP、VSS、CBTなど) を介した効率的なエージェントレス VM バックアップを可能にします。
 - vSAN スナップショットとライブ ブラウズを使用して、アイテム単位のリカバリも、フルVM リカバリも、柔軟に対応します。
 - オンプレミスのVMware、VMware Cloud on AWS、ネイティブのAWS EC2との間で、どの組み合わせでもフェイルオーバーとフェイルバックが行えるDRレプリケーションを提供します。
- Commvault ソフトウェアを活用して、下記アクセスを提供します。
 - 4D インデックスにより、コンプライアンス検索やケース マネージャー イニシアチブを強化し、特定のプロセスやポリシーの管理を支援します。
 - Commvault Complete™ Data Protectionには、パターンとパフォーマンスを分析する人工知能 (AI) が含まれており、プロセスを変更したり、優先順位を変更したりすることで結果を改善することも可能です。
 - Commvault の自動ポリシー エンジン は AI による自動チューニングを可能にし、すべてのワークロードのリカバリ ポイント オブジェクト (RPO) とリカバリ タイム オブジェクト (RTO) の改善を支援します。

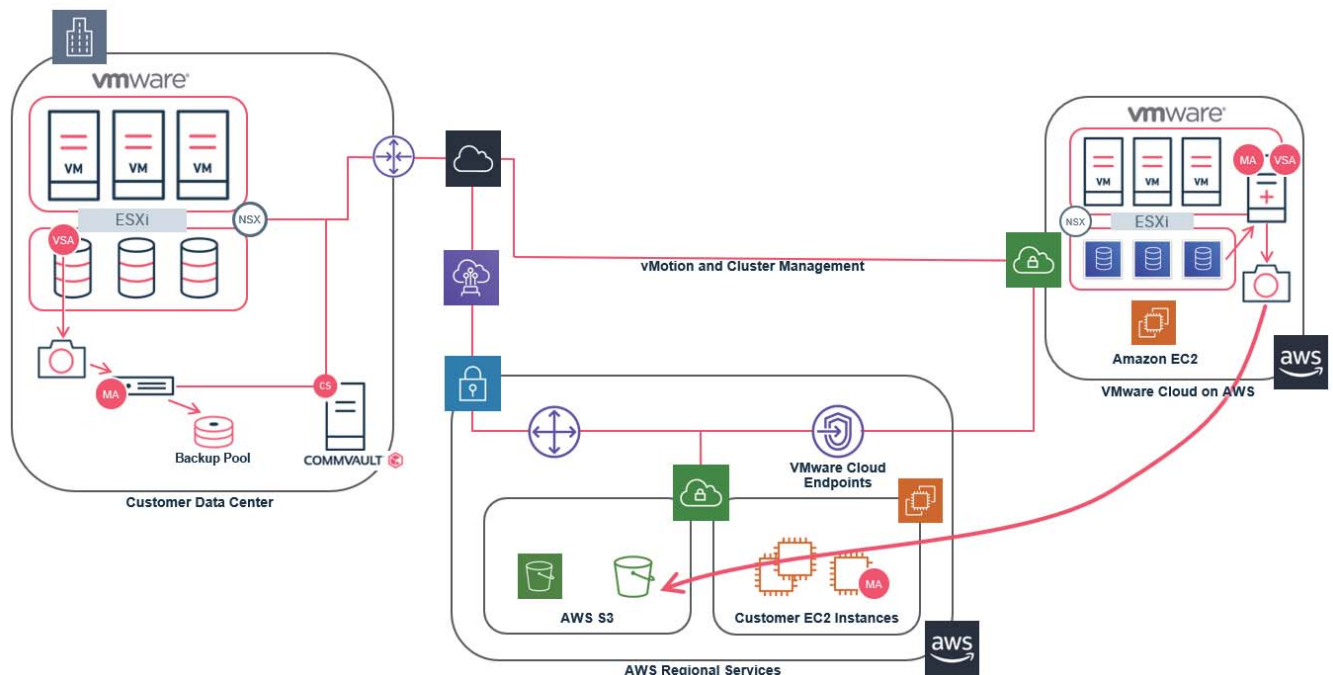
さまざまなユースケースを可能に

Commvault の単一の統合プラットフォームは、データ管理に包括的アプローチを取ることで、柔軟で拡張性の高いアーキテクチャを利用して、リスクの軽減、運用効率の向上、コスト削減、データからのより多くの価値創造を可能にします。災害復旧、テスト/開発、アーカイブなどメインのユースケースだけでなく、以下のような特定のユースケースにも対応します。

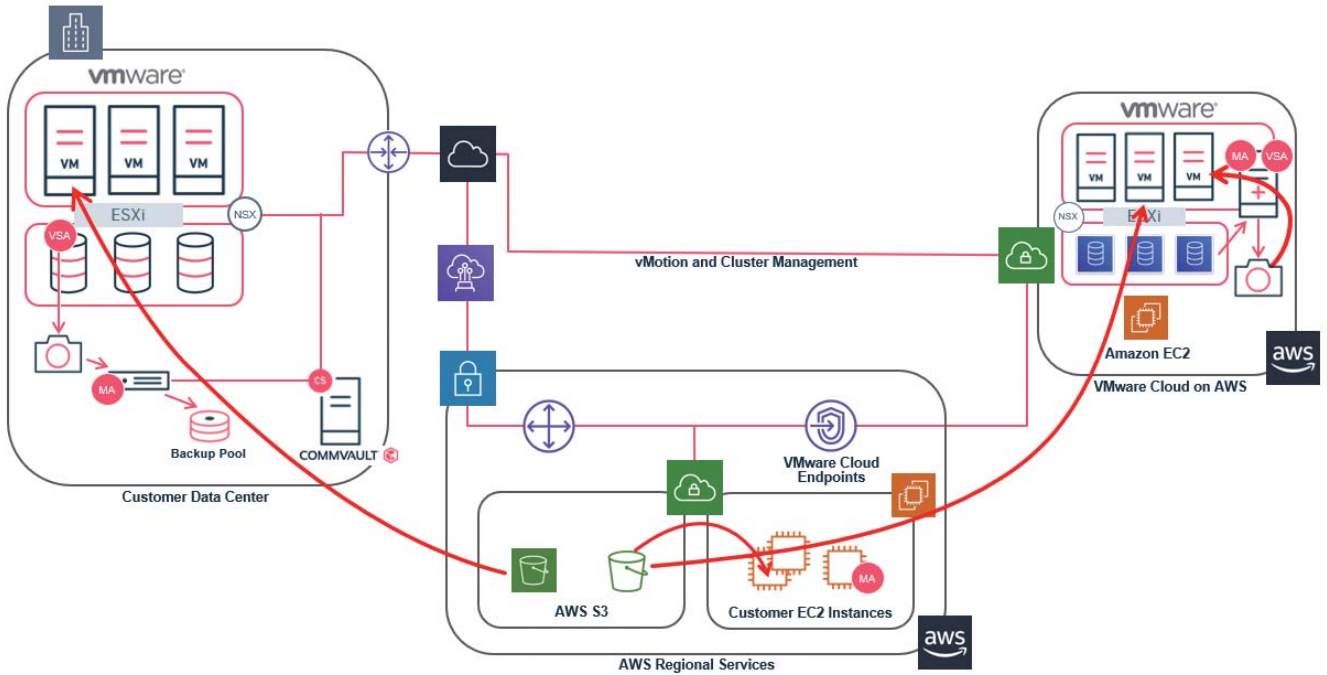
(1) VMware Cloud on AWSのバックアップをAmazon S3へ



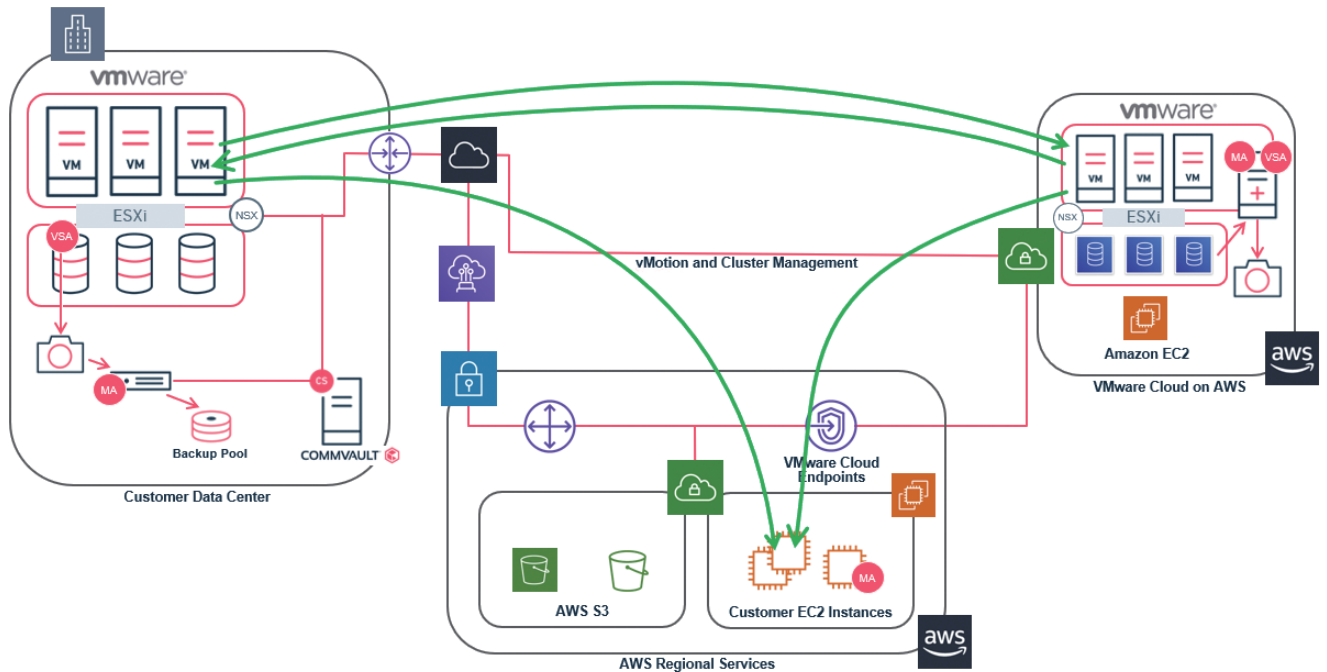
(2) vSANのスナップショットとVMware Cloud on AWSのバックアップをAmazon S3へ



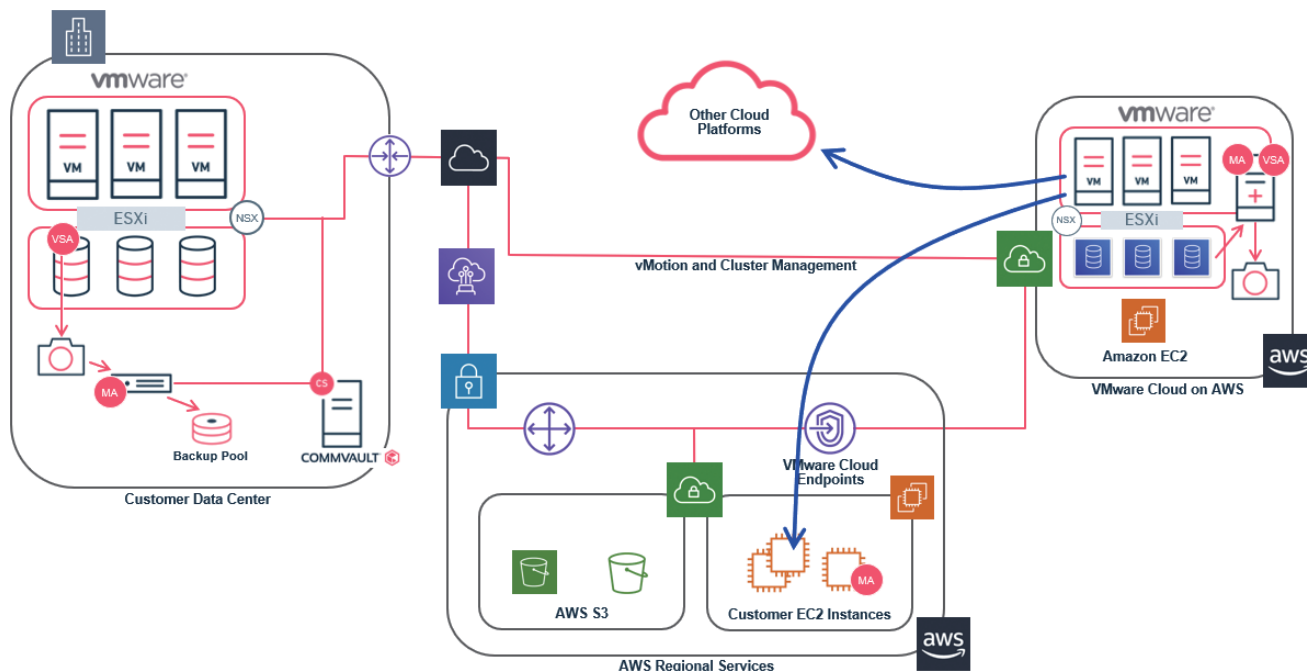
(3) Amazon S3からどこへでもリストア (オンプレミスを含む)



(4) オンプレミスとVMware Cloud on AWSやAWS間でLive Syncディザスタ カバリ



(5) VMware Cloud on AWSから、AWSをはじめとする他のパブリック クラウド プラットフォームへのシンプルな移行を実現



グローバル管理とプロアクティブなモニタリング

- オンプレミス、複数のVMware Cloud on AWSアカウント、リージョンにまたがるすべてのワークロードの保護、管理、監視、レポートを単一の統合ビューで実行できます。
- 単一のインターフェイスから、任意の AWS リージョン、オンプレミスのデータセンター、または他のクラウド プロバイダーへデータをリカバリできます。
- 使用していないときの、Commvault AWS Cloud コンポーネントの自動電源管理が可能です。

AWSストレージとの連携

- すべてのティアのAWSストレージに対応します: Amazon S3 Standard、Amazon S3-IA、One-Zone-IA; Z-IA、Amazon Glacier
- ゲートウェイを必要とせず、すべてのティアのAWSストレージと直接連携することができます。
- バックアップにCommvaultの圧縮と重複排除機能を活用することで、AWS S3ストレージのコストを削減します。
- Amazon Glacierポールド ロックのサポートで、WORMとコンプライアンス ストレージに対応します。

シンプルな導入と管理

- ソフトウェアベースのソリューションで、導入方法に柔軟な選択肢を提供します。
- Commvault HyperScale™ テクノロジーは、データ保護プラットフォームの導入をシンプルにします。
- 直感的な管理インターフェイスは、学習曲線と導入の複雑さを軽減します。
- クラウド コンポーネントの自動電源管理により、コストを最小限に抑えることができます。
- 単一のライセンス モデルにより、企業内のすべてのAWSワークロードをカバーできます。

データ保護のハイライト

- CBT (Changed Block Tracking) を使用した "インクリメンタル フェイルオーバー" データ保護
- ゲストOSの自動検出
- Commvault IntelliSnap® テクノロジーによるスナップショット連携
- 仮想マシンとゲスト ファイルのライブ ファイル リカバリ
- エンドユーザーによるセルフサービス リカバリ
- アプリケーションとの整合性を自動で確保
- 使いやすい集中管理コンソールで包括的なアラートとレポートを作成

柔軟性と使いやすさ

Commvault はソフトウェア ベースのソリューションなので、導入方法には非常に柔軟性があります。また、Commvault HyperScale™ テクノロジーは、データ保護ソリューションのあらゆる側面をスケールアウト システムにまとめた統合ソリューションとしてもご利用いただけます。Commvault はまた、完全な仮想またはクラウドベースのデータ保護プラットフォームとして導入することも可能で、お客様のビジネスに固有のニーズに応えます。Commvault Command Center™ は、直感的なロールベースの管理インターフェイスで、すべての設定、管理、レポート作成ツールをひとつのブラウザベースのポータルに統合しています。これにより、日々の管理をシンプルにし、管理者の負担を軽減し、スピードと応答性を向上します。

Commvault で備える

VMware Cloud on AWS を利用することで、ワークロードに柔軟な環境が得られます。Commvault の完全に統合されたバックアップ ソリューションは、データ保護、管理、リカバリにいたるまでそのシンプルさを拡張し、現在だけでなく将来にわたって、データ保護に関する企業独自のニーズに応えます。

Commvault のデータ仮想化ソリューションの詳細はこちら >
www.commvault.co.jp/products/solutions/virtualization/

